

くすのき



内郷第三中学校 第31号
令和 5年 2月 7日
文責：校長 鈴木 隆

◇ 市新人駅伝競争大会

令和5年2月4日(土)に、いわき市中学校新人駅伝競走大会が開催され、本校男子の特設駅伝部が出場しました。

冬の寒い中、朝や放課後の練習に加え、会場での試走を行い、この日を迎えました。みんな自分の持てる力を出し切って『襷』をつなぎきり、見事完走することができました。駅伝チーム全員が内郷三中生としての『プライド』をもち、この大会に臨んでくれたことを誇りに思います。

また、生徒たちの心と身体のケアや応援をしてくださった保護者の方々、並びに先生方にも改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。今後とも宜しく願いいたします。

* 走っている様子と選手の感想

1区 遠藤優斗くん



試走よりも本番でいい結果を出せるように、練習に頑張っており組みました。多分「9分」を着ることができたと思います。とても嬉しかったです。そして何よりも、みんなで「襷」をつなげて良かったです。



2区 大和田心温くん



少しでもタイムを縮めようと練習してきました。「9分」を切ることができてとても嬉しかったです。また、完走できたことも嬉しかったです。無事襷をつなげられて良かったです。ブラボー！



3区 戸上翼くん



最初は足が震えるくらい緊張しましたが、襷を受け取ったら「走りきって襷をつなぐ!」という気持ちに切り替えられました。最後まで全力で走り切れて良かったです。



4区 高萩蓮くん



試走よりも緊張して、走る前はとても怖かった。でも走ってみるととてもいい自分のリズムで走ることができ、土田慧空先輩に襷をつなぐことができて良かったです。



5 区土田慧空くん



練習など、辛いこともたくさんありました。
でも、その辛さを乗り越え、駅伝大会で十二分に力を発揮することができました。
やりきれた喜びがすごかったです!!!



6 区福田琉翔くん



特設駅伝部のキャプテンとして、チームを引っ張り、みんなでまとまりをもって大会に臨むことができました。

アンカーとして襷を受け取り、最後まで諦めずに走りきりました。たくさんの練習を積み重ねた成果を発揮することができました。



令和4年度の内郷三中は、1年生7名(男子6名、女子1名)、2年生10名(男子5名、女子5名)、3年生8名(男子6名、女子2名)の全校生徒25名の小規模学校です。

それでも、一年を通じて活動しているバドミントン部、文芸部以外でも活躍が見られた年でした。

6月に行われた市陸上大会に生徒8名が出場し、1名は県大会にも出場しました。全校生の中で女子は8名しかいないのに、9月には5区間ある市駅伝大会に女子チームが出場しました。また、9月の市新人陸上大会に2名出場しました。そして今回の市新人駅伝大会に男子チーム出場と、積極的に活動することができました。生徒の皆さん、たくさんの感動をありがとう!